

教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ 修 各学位論文の主旨導ができる教員

公認心 公認心理師の有資格者 臨床心 臨床心理士の有資格者

修士論文の指導については、学生の研究内容により主旨導担当以外の教員も論文指導を行います。
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

杉本 希映

SUGIMOTO, Kie

教授・専攻主任
心理カウンセリングセンター長
博士(教育学)

歴 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。湘北短期大学生活プロデュース学科専任講師を経て現職

研 児童期から青年期の教育臨床を専門とし、研究と実践を行ってきた。子どもの「居場所」、いじめ・虐待など近年の子どもが抱える問題について研究している。

高橋 稔

TAKAHASHI, Minoru

教授 修士(教育学)

歴 筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科退学。広島国際大学臨床心理学助手をを経て現職

研 応用行動分析学の考え方や技法を心理臨床の世界にどのように応用できるかについて研究している。現在は、Acceptance and Commitment Therapyの技法の効果検証を行ったり、不安体験中の主体的行為についてアイトラッキング装置を用いて研究している。

笹川 智子

SASAGAWA, Satoko

教授 博士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。早稲田大学人間科学学術院助教を経て現職

研 社交不安症の治療と予防に関する研究を、主として認知行動論的な立場から実施している。また、精神発達病理学的な観点から、児童青年期の不適応症状の発現に関連する要因について幅広く検討している。

黒沢 幸子

KUROSAWA, Sachiko

教授 文学修士

歴 上智大学大学院文学研究科博士前期課程修了。私立公立学校スクールカウンセラー、上智大学・立教大学大学院講師等を経て現職

研 ①学校臨床心理学、スクールカウンセラー、②ブリーフセラピー(解決志向、ナラティブなど)、コミュニティ臨床(ピアサポート、コンサルテーション、心理教育)

橋本 星

HASHIMOTO, Rui

准教授 修士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得後退学。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所流動研究員、目白大学人間学部/心理学部助教、早稲田大学人間科学学術院准教授を経て現職

研 精神疾患や慢性身体疾患に対する認知行動療法を専門としている。現在は、人工知能による心理面接内の発言内容の質評価の検討や、職場のメンタルヘルス向上のための予防的支援の研究実践等を行っている。

浅見 祐香

ASAMI, Yuka

専任講師 博士(人間科学)

歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。新潟大学人文社会科学系講師を経て現職

研 主に、認知行動療法の立場から、依存行動や犯罪行為の維持メカニズムおよび効果的な心理学的支援について研究している。現在は、フレットマニア(窃盗症)やギャンブル、ゲームなどの行動嗜癖を対象とした治療や予防に関する研究を実施している。

阪無 勇士

SAKANASHI, Yuji

専任講師 博士(心理学)

歴 東京成徳大学大学院心理学研究科博士後期課程を修了。児童相談所児童心理司、昭和学院短期大学助教等を経て現職。特別区の児童相談所心理療法担当職員を兼任

研 児童虐待や不適切な養育がもたらす心理的な影響に対し、生活臨床の立場から治療的に介入していく研究と実践を行っている。また、各児童相談所等において、研究者の立場から子ども中心の支援と人材育成を行っている。

駒沢 あさみ

KOMAZAWA, Asami

専任講師 博士(心理学)

歴 東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻博士後期課程修了。国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター科研費研究員等を経て現職

研 主に精神科医療の領域で、うつ病などの精神疾患に対する認知行動療法の臨床研究や、ポジティブ心理学(特に、個人の強みを活かす視点)を取り入れた研究を行っている。

日高 響子

HIDAKA, Kyoko

専任講師 博士(公衆衛生学)

歴 筑波大学大学院人間総合科学学術院パブリックヘルス学位プログラム修了。筑波大学附属病院臨床心理士、つくば市発達相談員を経て現職

研 医療心理学を専門とし、身体疾患をもつ患者と家族の心理支援や小児がんサバイバーの精神健康支援などについて研究している。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、
こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

